



編さん便り 号外

千葉市史編さん担当

〒260-0856

千葉市中央区亥鼻 1-6-1

千葉市立郷土博物館

TEL 043-222-8231

Chiba-shi News Letter Extra News1 2016.8

新規整理史料 千葉市の歴史に新たな一面を追加

昨今、仕事であれ趣味であれ、インターネットのクラウド上での情報管理が主流となっていますが、ほんのちょっと前までは新聞や雑誌の切り抜きやそのほか諸々の「趣味の何か」「ちょっとした思い出」を保管しておく方法のひとつとして、「スクラップブック」が使われていました（今でも使われているはず…）。

遠く江戸時代にも、気に入った一枚刷の引札などを貼って楽しむ人たちもいましたが、明治以降も切手であったり、

旅行の記念の切符や現地で買ったお弁当の包み紙であったり…いろいろなスクラップブック=貼り混ぜ帳が作られています。ご自身も作った経験のある方も、実は多いのでは？

今回ご紹介するのは、平成28年5月、千葉市史編さん担当にてお預かりした史料です。最終的な整理報告は後日を期すとして、ここでは整理する側の「こんなものがあった!」「これは面白い!」の気持ちを追体験していただけたらと思います。



開いてみれば→



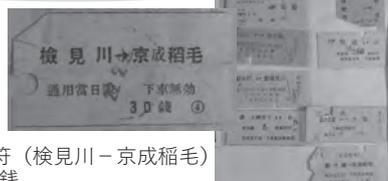
こんな感じでぺたぺたと

やはり切手もあったり



千葉鉄道青年学校卒業式記念品の「のし」か

鉄道の切符も昔懐かしい改札缺のあとが



切符（検見川→京成稲毛）
30 銭

美味しかった!の記録か、お酒のラベルや瓶の封をする紙なども



甘酒のラベル
(いずれも登戸の千葉屋)



百貨店での買い物や歳末の福引きなど生活が垣間見えたりも

福引補助券（千葉社社
境内睦会マーケット）



商品券（美鶴）



奈良屋百貨店の領収証や包紙

…いかがでしたか? 皆さんの自宅にも、眠っているのでは。こうしたスクラップブック。もちろん大切な思い出の一部ですが、一方で往事を偲ばせる大変貴重な「史料」でもあります。もし、見せてもいいよ、というような方がいらしたら、ぜひご連絡ください。

ご連絡先はこちら→

千葉市史編さん担当
 〒260-0856
 千葉市中央区亥鼻 1-6-1
 千葉市立郷土博物館
 043-222-8231